

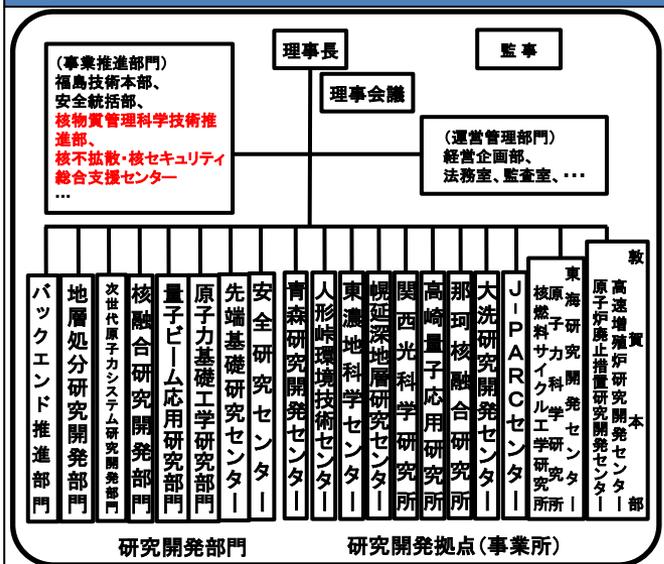
核不拡散・核セキュリティ総合支援センターの 発足と活動概要について

平成26年8月19日

独立行政法人日本原子力研究開発機構
核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

—原子力機構組織再編の概要—

再編以前の姿



解決すべき課題

- 機構横断的に経営上のリスクを把握・分析し、適時適切な経営判断につなげる意識が低く、またそのための仕組みが不十分
- 多数の組織が理事長に直結し、複数の組織間にまたがる課題の調整や現場の一体感醸成の面で問題が発生

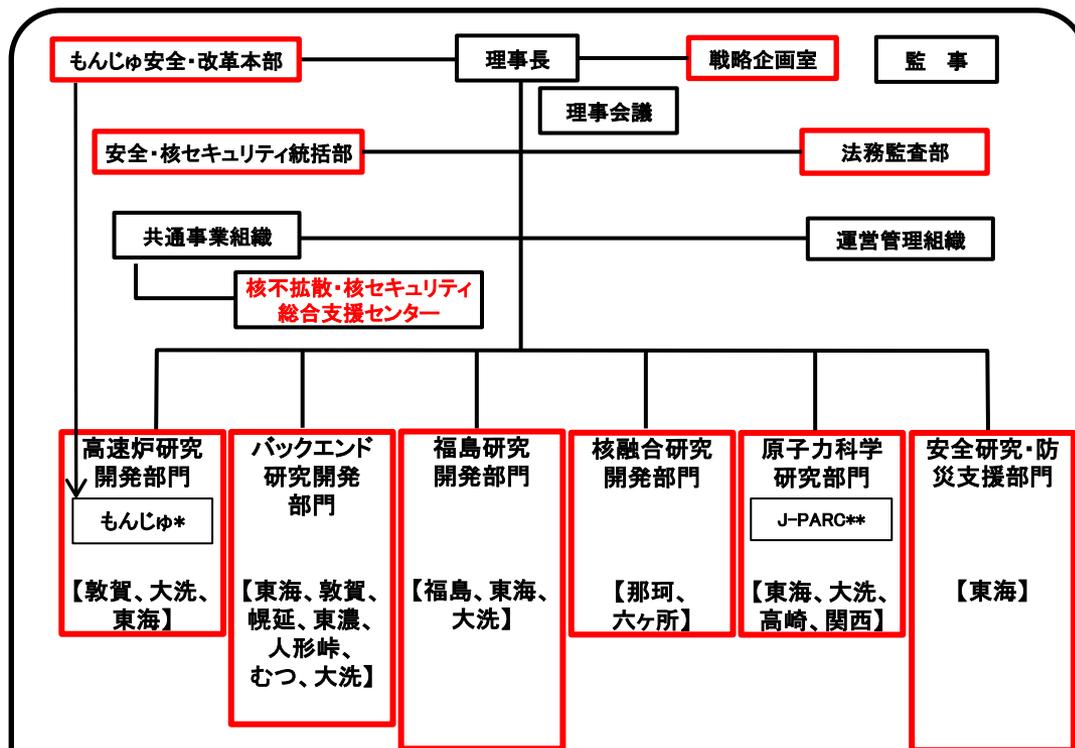
対策

- トップマネジメントによるガバナンスが有効に機能する体制整備
- 機動的な事業運営のため、事業ごとに大括り化した「部門制」組織に再編

再編後

○原子力機構のミッションを的確に達成する「強い経営」を確立するため、次の事項を柱とする組織再編を実施

- ・もんじゅ安全・改革本部の設置 (H25.10.1)
- ・戦略企画室、安全・核セキュリティ統括部、法務監査部の設置 (H26.4.1)
- ・現状の8研究開発部門・17事業所等の事業を6部門に集約 (H26.4.1)



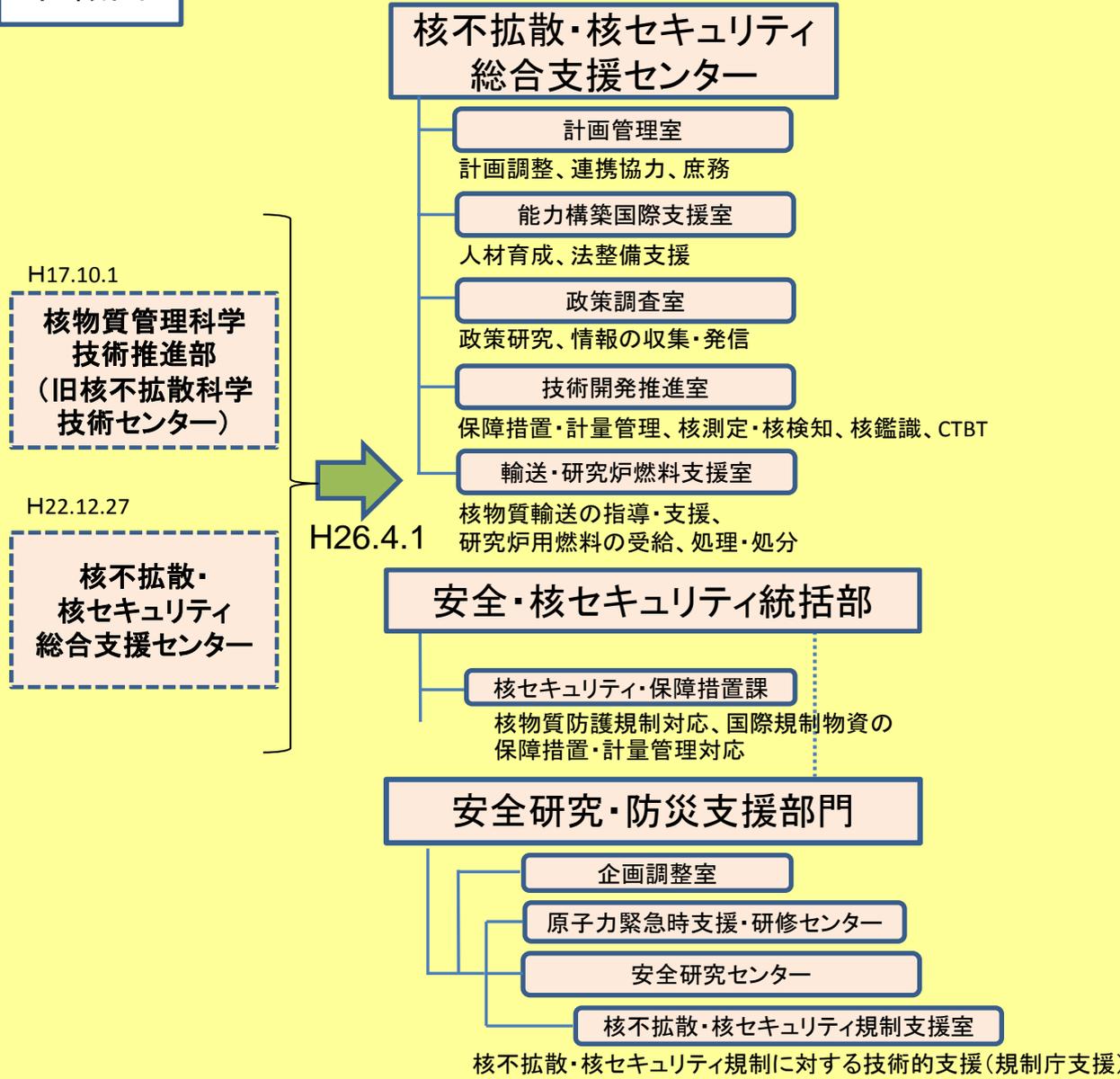
【 】内は、主な事業実施場所。

*）もんじゅの改革の重要案件については、本部長（理事長）が直接指揮

**）J-PARCはJAEAとKEKの共同事業であり、重要事項は理事長が指揮

— 機構改革における核不拡散・核セキュリティ関係組織の改編 —

組織図



改編のねらい

- 「核物質管理科学技術推進部」と「核不拡散・核セキュリティ総合支援センター」の統合により、国内外の中核組織としての機能を強化(核不拡散・核セキュリティ総合支援センターの改編)
- 原子力安全、核セキュリティ及び核不拡散にかかる機構内の規制対応業務の統合による連携の強化(安全統括部の改編)
- 原子力安全規制等に対する技術的支援の業務の実効性、中立性及び透明性の確保(核不拡散・核セキュリティ規制支援室の設置)

一核不拡散・核セキュリティ総合支援センター(ISCN)の理念と目指す姿(案)一

核不拡散・核セキュリティ活動の理念

エネルギーセキュリティと地球環境の保護を目指し、これまで培ってきた原子力研究開発の豊富な知識と経験に立脚し技術力を結集するとともに、内外の関係機関と十分に連携し原子力の平和利用と核不拡散・核セキュリティの両立のために貢献を果たす。

核不拡散・核セキュリティ活動の目指す三つの姿

- 原子力平和利用の円滑な推進役

我が国の核物質の管理と利用に係る透明性確保について国を支援

- 国際社会から信頼される技術開発集団

IAEA等の国際機関や各国の核不拡散・核セキュリティ分野で活用される技術を開発

- 能力構築支援に係る国際的なCOE

アジアを中心とした諸国に対して、核不拡散・核セキュリティ分野での能力構築に貢献する人材育成支援事業を実施

一次期中期計画(平成27年度～31年度)の概要(検討中)

【技術開発】

- 将来の保障措置や核拡散抵抗性向上に資する基盤技術開発を行う。また、核セキュリティサミットで日本国政府として表明している核物質の測定・検知及び核鑑識の技術開発を行う。これらの技術開発を行うに当たっては、IAEA、米国や欧州等と協力して推進する。

【政策研究】

- 我が国の原子力活動の透明性の確保を目的に核不拡散・核セキュリティにおける技術に基づいた政策研究を実施する。特に、今後の日米原子力協力協定の安定運用に資するため、核燃料サイクルにおけるプルトニウム等の核物質の適切な利用方策の検討、国内外への情報発信等を実施する。

【人材育成】

- アジアを中心とした諸国への核不拡散・核セキュリティ分野の人材育成支援を継続する。また、事業実施に必要な人材の更なる育成を図るとともに、IAEA、米国や欧州等との連携を強化する。

【CTBTO支援】

- 国及び包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)準備委員会への支援を通じた国際検証体制への貢献を行うために、放射性核種に係る監視施設の暫定運用を継続する。

【核物質輸送】

- 高速炉臨界実験装置(FCA)の核物質の米国輸送を支援するとともに、試験研究炉等の核物質輸送の円滑な実施に努める。

參考資料

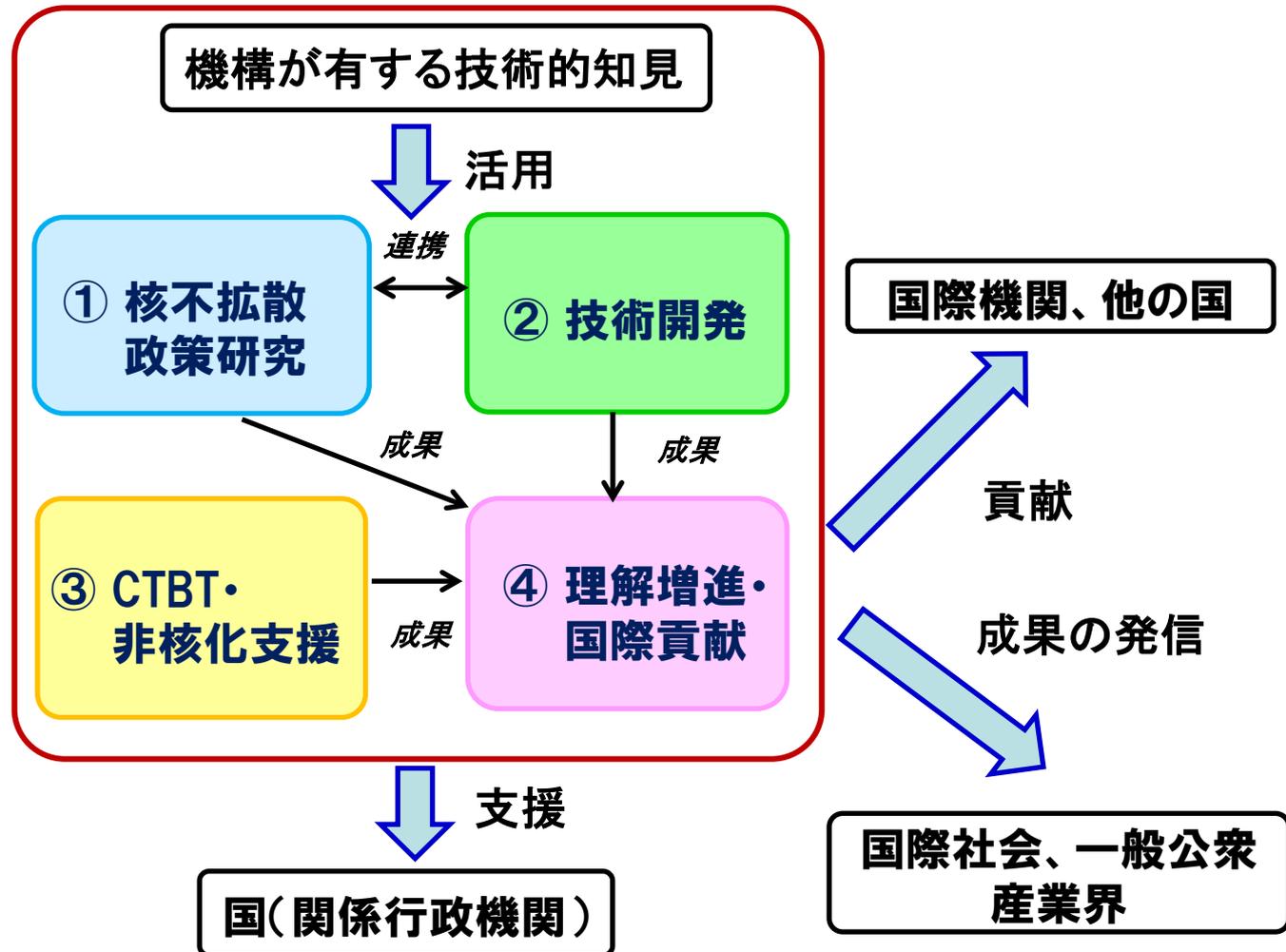
業務の概要

【関連する評価項目；No24 国際協力の推進】

業務の方針
(中期計画の抜粋)

- ①関係行政機関の要請に基づき、技術的知見に基づく政策的研究を行う。核不拡散関連情報を収集し、関係行政機関との情報共有を図る。
- ②関係行政機関の要請に基づき、保障措置、核物質防護、核セキュリティに係る検討・支援や技術開発を実施する。将来の保障措置等に資する基盤技術開発を行う。日米合意に基づく核物質の測定・検知技術開発等を行う。
- ③CTBTに係る検証技術開発を継続するとともに、関係行政機関の要請に基づき、CTBT監視観測所/公認実験施設/国内データセンターを運用する。ロシアの核兵器解体に伴う余剰Pu処分支援を継続する。
- ④核不拡散についての理解促進に努めるとともに、関係行政機関の要請に基づき、核不拡散・核セキュリティに関してアジア諸国等を支援する。技術支援等により国際的な核不拡散体制の強化に貢献する。

技術的知見に基づき、我が国のエネルギー政策に対応した核不拡散、核セキュリティ政策の立案、実施を支援し、本分野における国際的な貢献を行う中核的機関を目指す



	H22(評価A)	H23(評価A)	H24(評価A)	H25	H26	備考
I. 核不拡散政策研究	《技術的知見に基づく核不拡散政策研究》					
	・日米原子力協力協定の改定経緯分析 ・原子力新規導入国への核不拡散体制整備支援方策の立案	・日米原子力協力協定改定の論点検討 ・二国間原子力協力協定に共通的に盛り込まれるべき要素の検討	・日米原子力協力協定の期限到来に当たってのオプション及び論点についての対応策の検討 ・二国間原子力協力協定に含むべき要素の具体的内容や運用上の課題の検討	①バックエンドに係る核不拡散・核セキュリティ上の課題の検討	・バックエンドに係る核不拡散・核セキュリティ上の課題の検討	
	《核不拡散関連情報の収集と関係行政機関との共有》					
	・核不拡散関連情報の収集と関係行政機関との共有	・核不拡散関連情報の収集と関係行政機関との共有	・核不拡散関連情報の収集と関係行政機関との共有	②核不拡散、核セキュリティ関連情報の収集と関係行政機関との共有	・核不拡散、核セキュリティ関連情報の収集と関係行政機関との共有	
II. 技術開発	《保障措置、核物質防護及び核セキュリティ技術開発》					
	・核拡散抵抗性評価手法に関する技術開発 ・米国エネルギー省(DOE)との会合の開催による協力内容のレビュー及び協力の拡充 ・DOEとの核物質防護強化に関する研究協力の実施	・核拡散抵抗性評価手法に関する技術開発 ・米国エネルギー省(DOE)との会合の開催による協力内容のレビュー及び協力の拡充 ・DOEとの核物質防護強化に関する研究協力の実施	・核拡散抵抗性評価手法に関する技術開発 ・米国エネルギー省(DOE)との会合の開催による協力内容のレビュー及び協力の拡充 ・DOEとの核物質防護強化に関する研究協力の実施	①核拡散抵抗性評価手法に関する技術開発 ②米国エネルギー省(DOE)との会合の開催による協力内容のレビュー及び協力の拡充 ③核物質防護に関するリスク評価の実施 ④福島溶融燃料の保障措置・計量管理に適用可能な測定技術開発	・核拡散抵抗性評価手法に関する技術開発 ・DOEとの会合の開催による協力内容のレビュー及び協力の拡充 ・核物質防護に関するリスク評価の実施 ・福島溶融燃料の保障措置・計量管理に適用可能な測定技術開発 ・使用済燃料の直接処分に関わる保障措置・核セキュリティ技術開発	
	《日米合意に基づく核物質の測定、検知技術開発等》					
	・核物質測定及び検知に関する技術開発の実施 ・核鑑識技術開発の実施	・核物質測定及び検知に関する技術開発の実施 ・核鑑識技術開発の実施	・核物質測定及び検知に関する技術開発の実施 ・核鑑識技術開発の実施	⑤核物質測定及び検知に関する技術開発の実施 ⑥核鑑識技術開発の実施	・核物質測定及び検知に関する技術開発の継続 ・核鑑識技術開発の実施	
III. CTBT・非核化支援	《CTBTに係る検証技術の開発》					
	・核実験監視解析プログラムの改良、高度化	・核実験監視解析プログラムの改良、高度化	・核実験監視解析プログラムの改良、高度化および希ガス測定の共同プロジェクトの実施	①核実験監視解析プログラムの改良、高度化	・核実験監視解析プログラムの改良、高度化の継続	《ロシア解体核プルトニウム処分への協力》については、H26で終了となる。
	《CTBT国際監視観測制度施設等の運用》					
・CTBT国際監視制度施設及び国内データセンター(NDC)の運用	・CTBT国際監視制度施設及びNDCの運用	・CTBT国際監視制度施設及びNDCの運用	②CTBT国際監視制度施設及びNDCの運用	・CTBT国際監視制度施設及びNDCの運用の継続		
	《ロシア解体核プルトニウム処分への協力》					
	・ロシア解体核プルトニウム処分の推進に向けた取組	・ロシア解体核プルトニウム処分の推進に向けた取組	・ロシア解体核プルトニウム処分の推進に向けた取組	③ロシア解体核プルトニウム処分の推進に向けた取組	・ロシア解体核プルトニウム処分支援事業の取りまとめを実施	
IV. 理解促進・国際貢献	《核不拡散についての理解促進の取組み》					
	・核不拡散ニュースの配信、国際フォーラムの開催、結果の発信	・核不拡散ニュースの配信、国際フォーラムの開催、結果の発信	・核不拡散ニュースの配信、国際フォーラムの開催、結果の発信	①核不拡散ニュースの配信、国際フォーラムの開催、結果の発信	・核不拡散ニュースの配信、国際フォーラムの開催、結果の発信を継続	
	《アジア等の原子力新興国を対象とした核不拡散・核セキュリティに関する支援》					
・核セキュリティに係る人材育成のための体制整備	・アジア諸国等の人材育成及び基盤整備に関する支援と、支援実施のための国内関係機関との連携、機構内の体制、施設の整備及びIAEA等との国際協力の推進	・アジア諸国等の人材育成及び基盤整備に関する支援と、支援実施のための国内関係機関との連携及びIAEA等との国際協力の推進	②アジア諸国等の人材育成及び基盤整備に関する支援と、支援実施のための国内関係機関との連携及びIAEA等との国際協力の推進	・アジア諸国等の人材育成及び基盤整備に関する支援と、支援実施のための国内関係機関との連携及びIAEA等との国際協力の推進を継続		
《技術支援等による国際的な核不拡散体制の強化への貢献》						
・IAEAとの核セキュリティに係る調整プロジェクト(CRP)への参画	・CRPへの参画	・CRPへの参画	③JASPAS(日本によるIAEA保障措置技術支援)の実施	・JASPAS(日本によるIAEA保障措置技術支援)の実施		